

エ 特に計画はないが、そのつど必要に応じて行う。

オ その他

〈集計〉

| 項目  | ア  | イ | ウ  | エ  | オ |              |
|-----|----|---|----|----|---|--------------|
| 小学校 | 36 | 2 | 28 | 22 | 2 | N=53         |
| 中学校 | 42 | 8 | 39 | 11 | 0 | N=36<br>100% |

問(2) 教育課程の評価の実際について、一つ選んで下さい。

ア 学期ごとに評価を行い、改善に役立っている。

イ 学期ごとに行うが、どちらかというとそのままである。

ウ 週案による進度の管理にとどまっている。

エ 週案による時数の管理にとどまっている。

オ 評価など行ったことはない。

カ その他

〈集計〉 (教員対象)

| 項目  | ア  | イ  | ウ  | エ  | オ | カ |               |
|-----|----|----|----|----|---|---|---------------|
| 中学校 | 36 | 27 | 24 | 11 | 0 | 2 | N=100<br>100% |

問(3) 教育課程の評価を行うときの問題点について、次の各問に答えて下さい。

① 教育課程の評価をするとき、問題になることはありますか。一つ選んで下さい。

ア 問題となることがある。

イ どちらともいえない。

ウ 問題とならない。

〈集計〉

| 項目  | ア  | イ  | ウ |              |
|-----|----|----|---|--------------|
| 小学校 | 77 | 15 | 8 | N=53         |
| 中学校 | 69 | 25 | 6 | N=36<br>100% |

② 回答した理由はどんなことからですか。実情について・印を付して箇条書きにしてください。

〈集計〉 中学校のみ①でアと回答した25校だけの理由 N=53 (複数回答)

| 順位 | 回答した理由           | 校数 |
|----|------------------|----|
| 1  | 客観的な評価票の研究がたりない。 | 19 |

|   |                 |    |
|---|-----------------|----|
| 2 | 教職員の意識が低い。      | 11 |
| 2 | 評価方法の創意工夫がたりない。 | 11 |
| 4 | 評価結果の生かし方がたりない。 | 4  |
| 5 | 実施の時期がむずかしい。    | 3  |
| 6 | 時間がたりない。        | 2  |
| 7 | その他             | 3  |

③ 今後どのように対処していきたいと考えていますか。・印を付して箇条書きにしてください。

〈集計〉 小・中学校 (複数回答)

| 順位 | 回答した対処策          | 小学校<br>N<br>   103 | 中学校<br>N<br>   80 | 合計<br>N<br>   183 |
|----|------------------|--------------------|-------------------|-------------------|
| 1  | 評価票の研究を深める。      | 32                 | 15                | 47                |
| 2  | 共通理解による意識の高揚を図る。 | 19                 | 21                | 40                |
| 3  | 評価の方法を工夫する。      | 21                 | 13                | 35                |
| 4  | 組織を確立し、活用を図る。    | 13                 | 11                | 24                |
| 5  | 評価計画を具体的に立てる。    | 13                 | 10                | 23                |
| 6  | その他              | 5                  | 10                | 15                |

〈考察〉

問(1)での調査では、ア「評価計画」に回答した学校が、小36%・中42%もある反面、ウ「校長、教頭、教務等の指示」も小28%・中39%ある。また、エ「そのつど」にも、小22%・中11%回答されていることに留意したい。効果的な評価活動を推進するためには、手順・方法までも含めた具体的な評価計画は不可欠なはずであるが、編成過程での編成計画に比べて、落ち込みがみられる。なお、このことは、問(2)の評価の実際の調査にも表れており、計画的に実施し改善に役立ってるアは36%の回答にとどまっていることや、問(3)の②③の設問に対する具体的回答例に、評価方法や評価計画について多くあげられていることなどからも、推察できるのではなかろうか。

問(3)の設問では、教育課程評価実践上の問題点及び、その対処策について調査したが、ここでも、前述のように評価活動の推進に直接かかわる評価